



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2011推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

新方針「介護ウェーブ2011後半戦の方針」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう！

風が冷たく肌寒い中で「元気に熱く」アピール！

なんば高島屋前「介護ウェーブ大宣伝行動」に150名を超える参加(大阪)

2011年11月11日（金）「介護の日」に、なんば高島屋前で大阪民医連、21老福連、福祉保育労、大阪ヘルパー労組連絡会、医労連との共同で「介護ウェーブ大宣伝行動」が行われました。当日はあいにくの天候で、午前中から降り続いている雨は午後から次第に上がり、風が冷たく肌寒い中の宣伝行動でしたが、大阪民医連からは9法人134名の職員が参加し「元気に熱く」宣伝行動を行いました。全体では154名の参加者と報告がありました。

多くの通行人が行きかう時間帯（18時～19時）ということもあって、宣伝カーから介護職員が次々と介護現場で働く職員の実情や、多くの利用者が困窮していること、介護保険制度の矛盾、「改正」介護保険の改善を求める署名の訴えなどを行いました。民医連からは北村氏（耳原ヘルパーステーションともうず老松・社会医療法人同仁会）、藤田氏（田島デイサービスセンター・ヘルスコープおおさか）、宮田氏（グループホームくすね・医療生協かわち野）、梅谷氏（老健施設よどの里・淀川勤労者厚生協会）、井上氏（生協加納診デイケア・医療生協かわち野）の5名が、道行く市民に大きくアピールしました。足を止めて訴えに耳を傾ける人や、介護署名に協力していただいた方も多く、介護署名は185筆を集めることができました。

この日には、全日本民医連から介護職員「介護ウェーブ」国会行動（11月22日）の提起があり、多くの介護署名を国会へ届けに行きます。各事業所でも急ピッチで介護署名のお願いとともに、介護現場での切実な問題の声を直接国会へ届けていきましょう！

（大阪民医連 介護福祉ニュースVol.8 2011年11月12日より）



自分の言葉で伝えることの大切さや伝えるために学習が必要だと痛感 「介護保険改善を求める街頭署名活動」に16名の介護職員が参加(香川)



11月19日(土)に、「介護の日」に呼応した活動の一環として、2ヶ月に1回開催している介護職員学習交流会のキャリアアップ研修と合わせて、「改正」介護保険法と地域包括ケアシステムの学習と介護保険改善を求める街頭署名活動を行いました。大雨の中で45分程度の活動でしたが、16名の介護職員が参加し103筆の署名を集めることができました。介護福祉委員会の5名の委員が署名内容を現場の要求と合わせてリレートークで訴えました。初めてリレートークに参加した職員からは、「自分の言葉で伝えることの大切さや伝えるために学習が必要だと痛感した」、「介護保険制度自体がまだまだ知られていないことや街頭署名の難しさを実感した」等の感想が寄せられ、多くの学びある時間となりました。この経験と力を生かして、介護職場から病院内で署名を訴えかけたり、組合員さんへ協力を求めたりと活動が広がっています。一気に目標の1000筆を超えるよう力を合わせていきます。

介護職員学習交流会「キャリアアップ研修会」では、香川短期大学生活文化学科介護福祉専攻教授の岩永十紀子先生をお迎えして、「高齢者対象の音楽療法」を学びました。音楽療法の基礎知識・効果・プログラム構成理論などを実際に歌ったり楽器を使用して実践的に学びました。日常介護場面で行なっている音楽を取り入れたアクティビティーや日常の挨拶が見当識訓練や、長期記憶の刺激につながるよう働きかけることの重要性など利用者の効果となっていく過程を体験できました。ほとんどの参加者から、現場で積極的に取り組んでいきたいとの感想を出されました。(香川民医連ニュースNo. 341 2011年11月28日より)



利用者からの声の反映として積極的に受け止めてもらいたい！ 高齢者が安心して暮らせる制度めざして「宝塚市との懇談会」を実施(兵庫)



介護保険制度の2012年改定を控えて、宝塚医療生協は1月11日「介護の日」に宝塚市との懇談を行い、宝塚市側は介護保険課長、いきがい福祉課長、健康長寿推進室室長の3人が対応し、宝塚医療生協からはケアマネジャー6人と本部事務局から合わせて7名が参加し、市会議員も同席しました。

懇談では、2012年度から始まる、第5期介護保険事業計画策定に向けて、宝塚市として第4期計画の進捗状況と問題点や、この間行われた、高齢者に対する実態を把握する「日常生活ニーズ調査」の結果と分析内容、「介護予防・日常生活支援総合事業」への対応等を質問しました。特に給付の切捨てにつながる「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施については、行政として慎重に判断してもらうよう要望しました。介護保険料についても、「日常生活域ニーズ調査」での生活実態からみた負担感も訴え、最後に「今回の懇談はケアマネジャーからの意見が中心であったが、利用者からの声の反映として積極的に受け止めてもらいたい」と締めくくって懇談を終わりました。また、当日は「介護の日」の行動として、午後5時から宝塚駅陸橋で「改正」介護保険の改善を求める署名・宣伝行動を行いました。日中の勤務を終えた介護職員ら14人が集まり、マイク宣伝と独自に作成したビラを配布し署名を訴え、84筆の署名の協力を得ることができました。介護ウェーブの運動はこれからが重要です。

(2011年11月25日 宝塚医療生協より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp